2027年3月期　第2四半期

決算説明資料

共同印刷株式会社（証券コード：7914）

2026年11月9日

TOMOWEL
共にある、未来へ

エグゼクティブサマリー

1. 情報セキュリティ部門でのBPO案件増加や生活・産業資材部門での主要品目の売上拡大と、継続的な価格転嫁の取り組みにより、大幅な増益を達成

2. 下期も業績は堅調に推移すると見込むことから、通期の利益予想を上方修正

3. 情報コミュニケーション部門の収益力強化に向け、出版印刷事業の構造改革と持続的成長に向け組織を再編

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Part.1

2027年3月期第2四半期
決算概要

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

2027年3月期第2四半期　決算ハイライトおよび業績予想

TOMOWEL
共同印刷株式会社

国内需要が安定的に推移し売上高が拡大したことや、適正な水準での価格転嫁により増収増益
下期も業績は堅調に推移すると見込むことから、通期の利益予想を上方修正

単位：百万円	2026年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第2四半期 修正予想 ※1	2027年3月期 第2四半期 実績	前年同期比		2027年3月期 通期予想 ※2	2027年3月期 通期 修正予想
				増減額	増減率		
売上高	47,601	49,000	**48,180**	+579	+1.2%	101,000	**99,000**
営業利益	612	1,200	**1,331**	+719	+117.5%	2,500	**2,700**
営業利益率	1.3%	2.5%	**2.8%**	+1.5Pt	—	2.5%	**2.7%**
経常利益	1,003	1,500	**1,704**	+700	+69.8%	2,950	**3,150**
当期純利益	1,351	2,300	**2,869**	+1,517	+112.3%	4,200	**5,100**

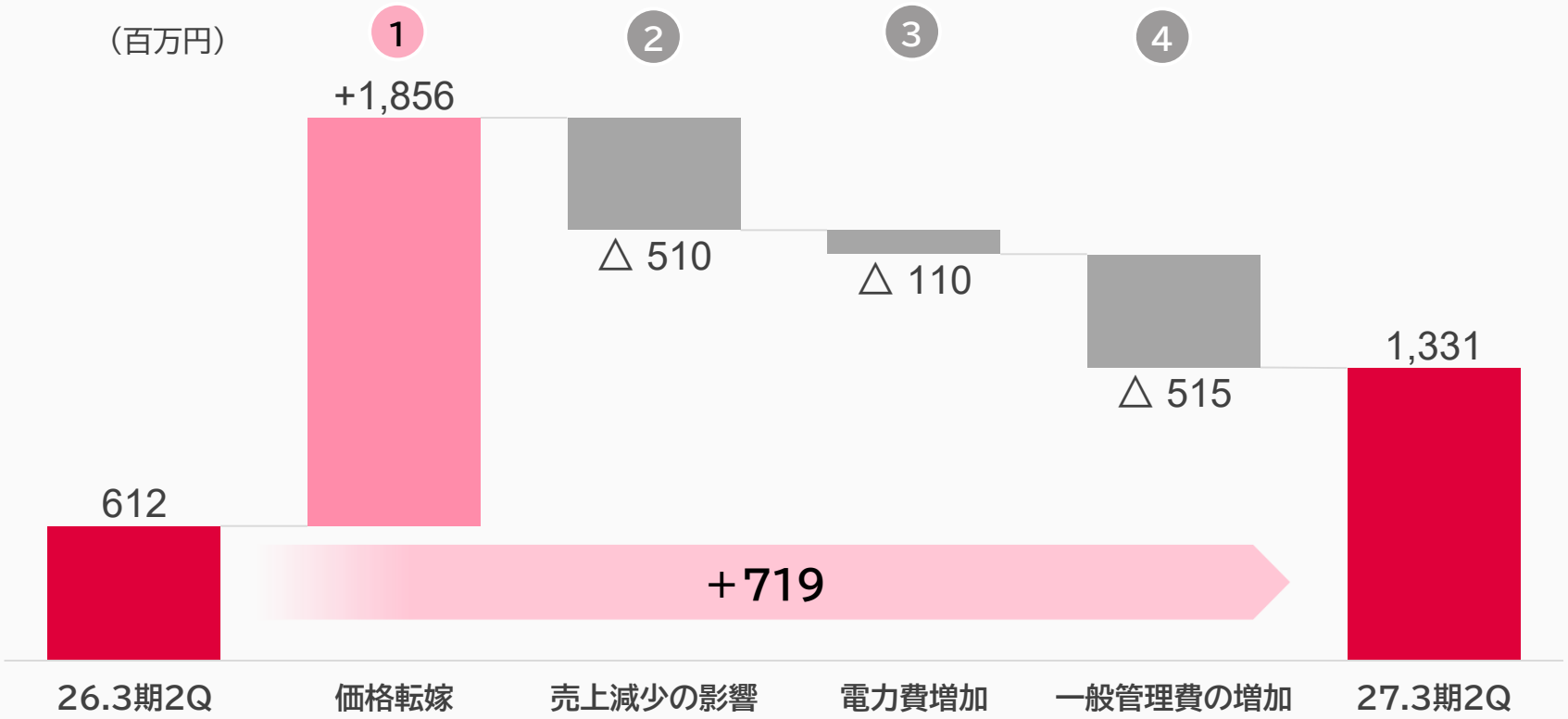
※1　2026年8月7日公表　　※2　2026年5月15日公表

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

営業利益　増減要因分析（2027年3月期第2四半期）

TOMOWEL
共同印刷株式会社

情報セキュリティ部門におけるBPO案件の増加や生活・産業資材部門での売上拡大と、継続的な価格転嫁の取り組みにより、大幅な増益を達成



1 価格転嫁

継続的な価格転嫁の取り組みが進展

2 売上減少の影響

情報コミュニケーション部門をはじめとする売上減少の影響

3 電力費増加

燃料調整費の上昇による電力費の増加

4 一般管理費の増加

IT・戦略投資に関する諸費用などの増加

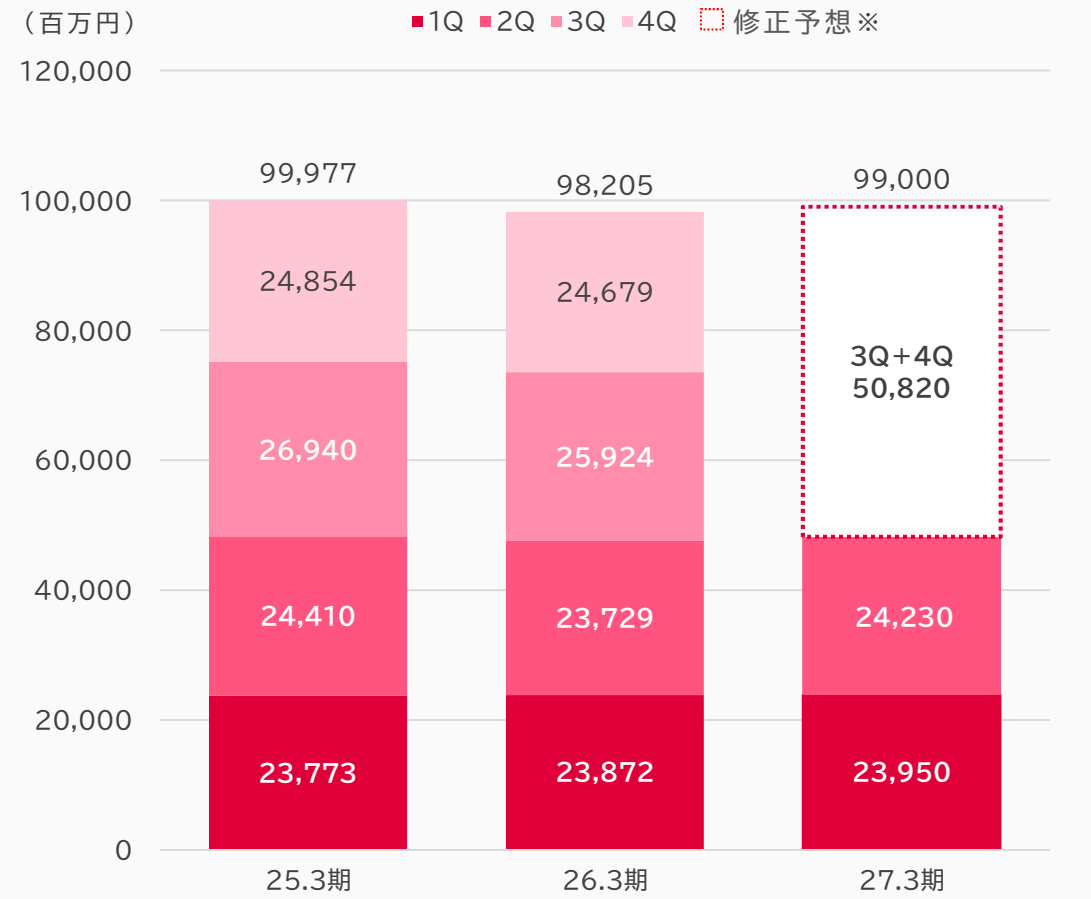
copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

四半期業績推移

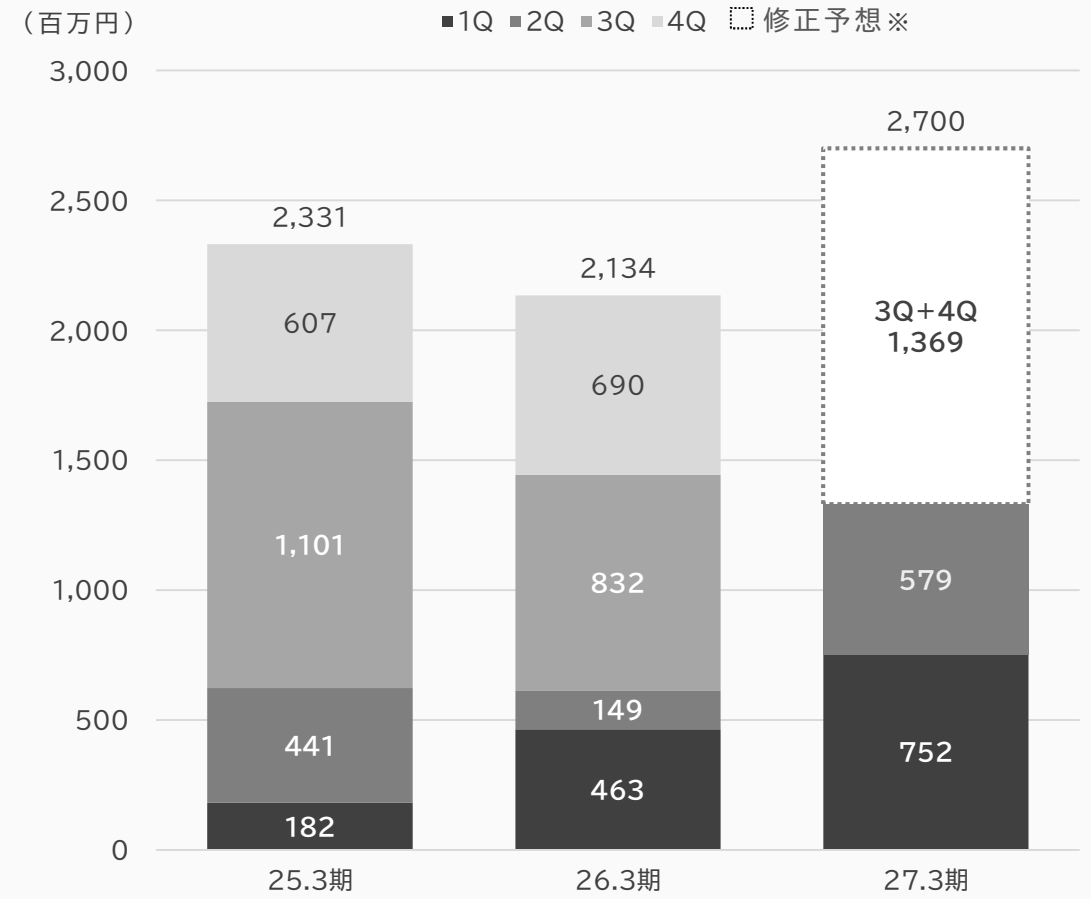
TOMOWEL 共同印刷株式会社

売上高はグループ全体ではおおむね計画並みに推移、営業利益はBPOおよびラミネートチューブや軟包装の売上拡大と、継続的な価格転嫁の取り組み効果により増加

売上高



営業利益



※ 2026年11月9日公表

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

セグメント別業績

TOMOWEL 共同印刷株式会社

- 情報コミュニケーション部門　：オリジナルコンテンツが想定通り伸長せず、既存印刷も低調に推移したため、減収減益
- 情報セキュリティ部門　：交通系ICカードが減少したものの、自治体向けBPOなどが伸長し、減収増益
- 生活・産業資材部門　：ラミネートチューブや軟包装など主要な品目が増加し、増収増益

単位：百万円/%

	売上高			営業利益		
	2026年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第2四半期 実績	増減率	2026年3月期 第2四半期 実績	2027年3月期 第2四半期 実績	増減率
情報コミュニケーション	15,183	14,395	△5.2%	△442	△595	–
情報セキュリティ	15,079	14,916	△1.1%	628	924	+47.1%
生活・産業資材	16,235	17,851	+10.0%	681	1,219	+78.9%
その他（調整分含む）	1,102	1,016	△7.8%	△254	△217	–
合計	47,601	48,180	+1.2%	612	1,331	+117.5%

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

TOMOWEL
共同印刷株式会社

セグメント別業績予想（通期）

- 情報コミュニケーション部門 ：減収基調で推移するも、赤字解消を図る
- 情報セキュリティ部門 ：交通系ICカードは苦戦が見込まれるものの、増益を確保
- 生活・産業資材部門 ：下期は上期の収益良化分に対する調整が入るものの、増収増益
- グループ全体 ：売上高は計画並みに推移、利益水準は当初予想を上回る見込み

単位：百万円/%

	売上高		営業利益	
	2027年3月期 通期 当初予想 ※1	2027年3月期 通期 修正予想	2027年3月期 通期 当初予想 ※2	2027年3月期 通期 修正予想
情報コミュニケーション	34,000	31,500	250	0
情報セキュリティ	29,500	29,500	1,250	1,400
生活・産業資材	35,300	36,000	1,700	2,000
その他（調整分含む）	2,200	2,000	△700	△700
合計	101,000	99,000	2,500	2,700

※1　2026年5月15日公表　　※2　2026年8月7日公表

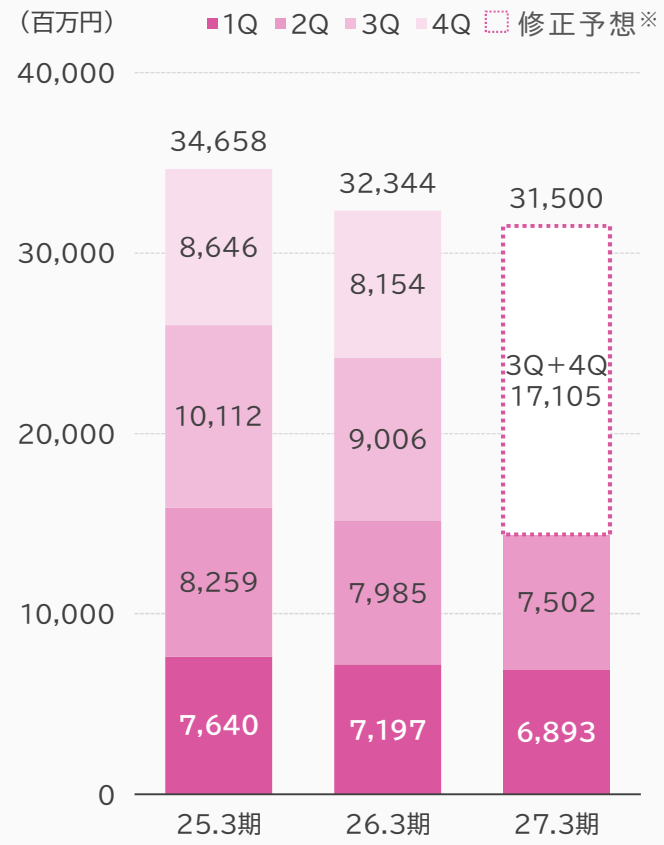
copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報コミュニケーション部門

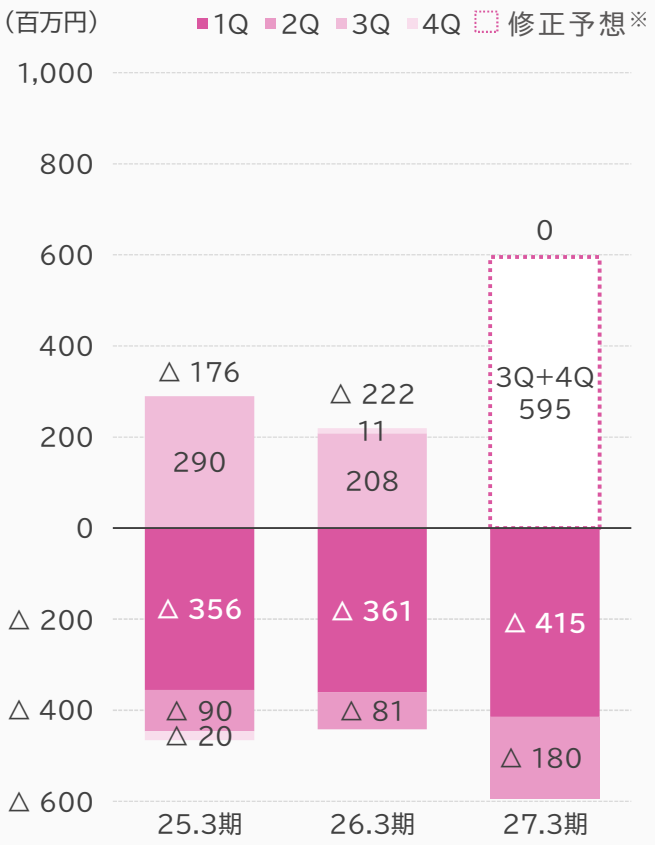
TOMOWEL 共同印刷株式会社

オリジナルコンテンツは増収となったが損失幅が改善せず、出版印刷と一般商業印刷は既存紙媒体が減少

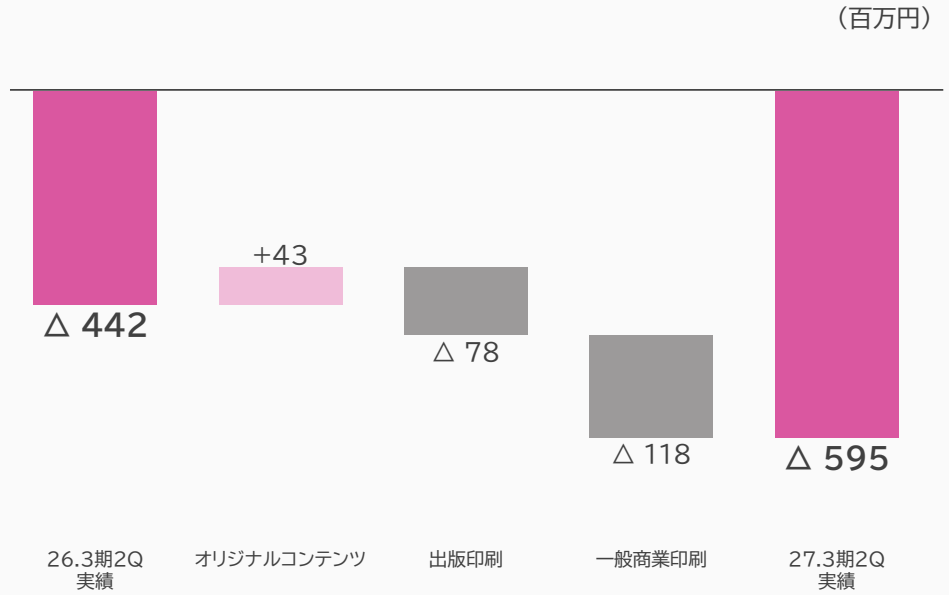
売上高



営業利益



四半期利益増減要因



出版印刷
- 書籍は増加したものの、雑誌が減少（発行部数や付録の減少）

一般商業印刷
- 店頭用展示販売台や、紙媒体を中心とした既存案件の減少で大幅減

オリジナルコンテンツ
- デジタルコミックが順調に推移
- 出版コンテンツやゲームなどIPを活用した大型企画展を展開

※　2026年11月9日公表

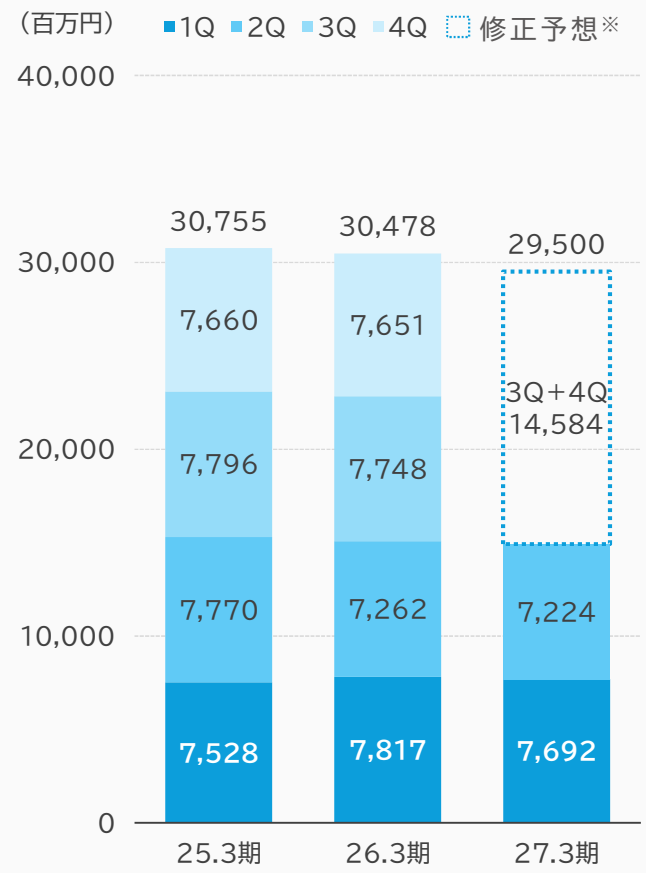
copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報セキュリティ部門

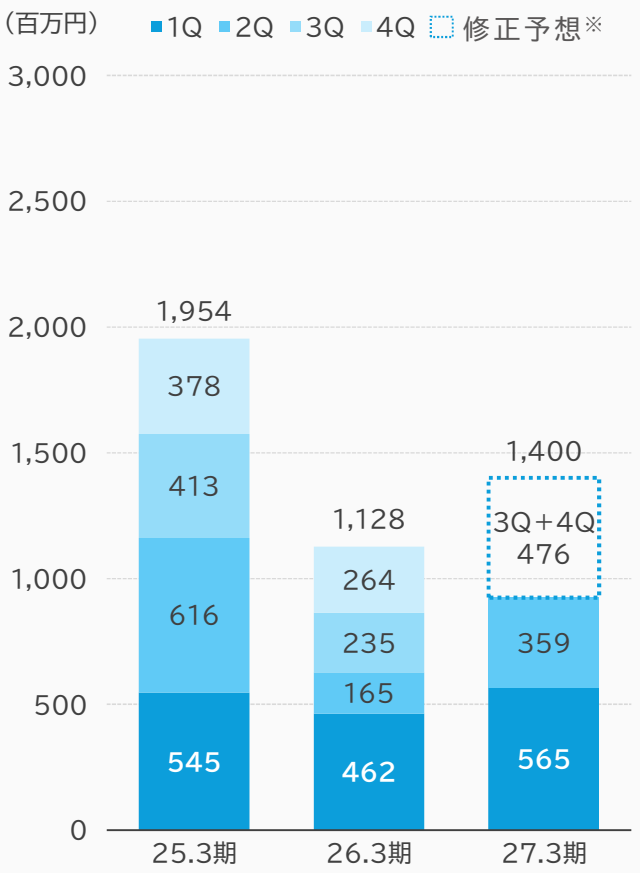
TOMOWEL 共同印刷株式会社

交通系ICカードが減少した一方、自治体向けBPOやヘルスケア分野向け情報サービスBPOが増加

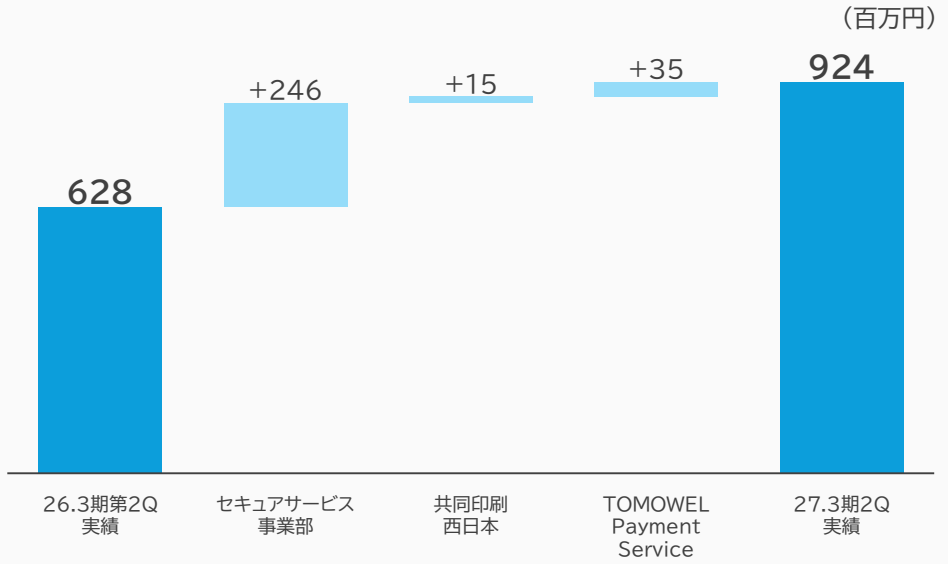
売上高



営業利益



四半期利益増減要因



・セキュアサービス事業部	関東圏の自治体や企業向けデータプリント・BPO、宝くじ、ICカードなど
・共同印刷西日本	関西圏および中京圏を中心とした自治体向けデータプリントなど
・TOMOWEL Payment Service	法人向け決済ソリューション事業

データプリント・BPO
- 自治体向け新規案件の確保によりデータプリントやBPOが増加
- ヘルスケア分野向け情報サービスBPOが好調に推移

宝くじ・乗車券・カード
- 交通系ICカードは大幅に減少も、乗車券は価格転嫁もあり増加

※　2026年11月9日公表

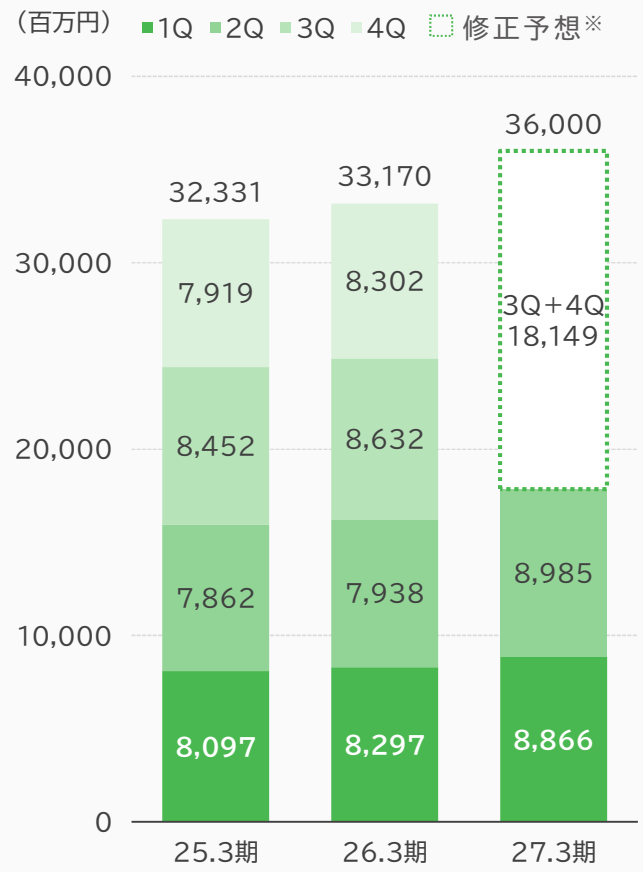
copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

生活・産業資材部門

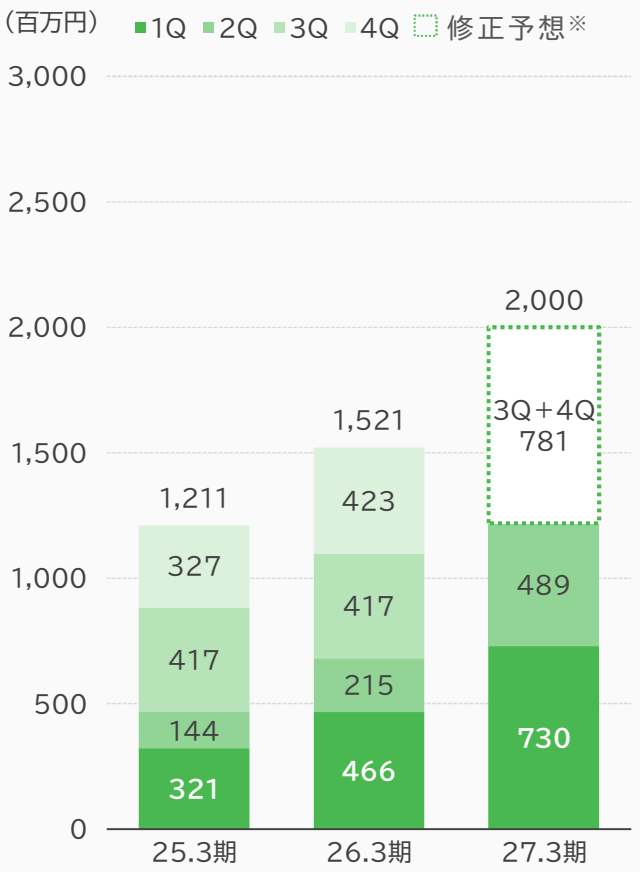
TOMOWEL 共同印刷株式会社

価格戦略の効果もあり、主要品目が好調に推移し、高付加価値製品も増加

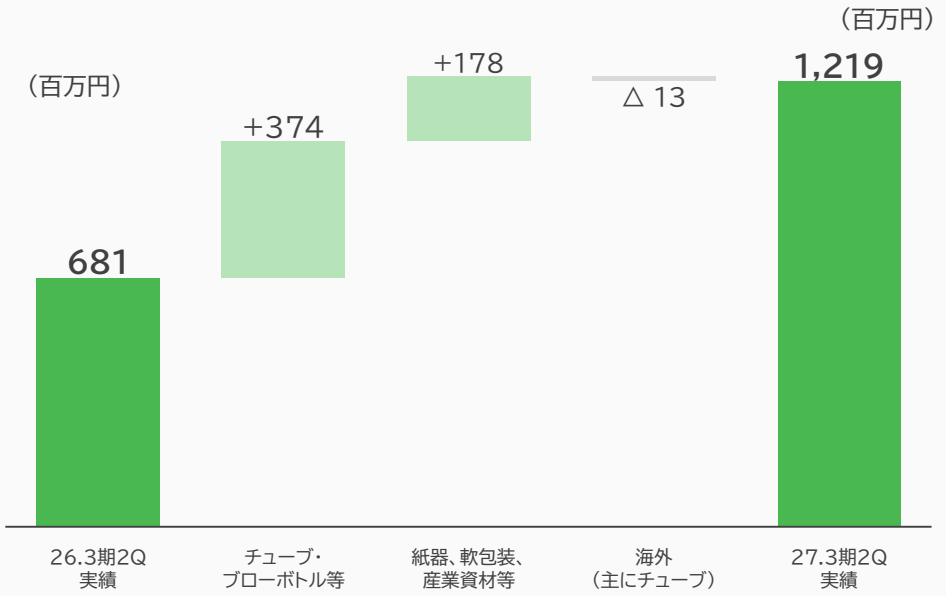
売上高



営業利益



四半期利益増減要因



ラミネートチューブ
- 歯磨き向けを中心に好調に推移

紙器・軟包装
- 即席麺向けフィルム包材やフタ材、Tパウチなど食品向けが増加
- ラップカートンが堅調に推移

産業資材
- 医薬品向けが増加

※　2026年11月9日公表

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

貸借対照表

TOMOWEL 共同印刷株式会社

投資有価証券の含み益が増加したため総資産が増加

単位:百万円	2026年3月期 期末	2027年3月期 第2四半期末	前期末比	主な増減内容
流動資産	47,113	48,899	+1,786	・現金及び預金　+636　棚卸資産　+1,213
固定資産	76,687	82,838	+6,150	・投資有価証券　+7,071
資産合計	123,801	131,738	+7,936	―
流動負債	29,672	21,983	△7,689	・1年内返済予定の長期借入金　△3,037 ・1年内償還予定の社債　△5,000
固定負債	28,867	38,033	+9,166	・社債　+5,000　・長期借入金　+1,971 ・繰延税金負債　+2,170
負債合計	58, 540	60,017	+1,477	―
株主資本	54,372	56,100	+1,728	―
その他の包括利益累計額	10,862	15,616	+4,754	・その他有価証券評価差額金　+4,738
非支配株主配分	26	3	△22	―
純資産合計	65,261	71,720	+6,459	―
負債純資産合計	123,801	131,738	+7,936	―
自己資本比率	52.7%	54.4%	+1.7Pt	―

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

キャッシュ・フロー計算書

TOMOWEL
共同印刷株式会社

税金等調整前中間純利益の増加により、フリーキャッシュフローが増加

単位：百万円	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,500	1,765	・ 税金等調整前中間純利益 ＋4,432 ・ 法人税等の支払額 △1,179 ・ 棚卸資産の増減 △1,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,048	1,244	・有形及び無形固定資産の取得による支出 △1,425 ・投資有価証券の売却による収入 ＋2,827
フリーキャッシュ・フロー	451	3,010	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,922	△2,414	・長期借入金の返済による支出 △3,062 ・長期借入れによる収入 ＋2,000 ・配当金の支払 △1,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	36	―
現金及び現金同等物の増減額	△1,501	632	―
現金及び現金同等物の期首残高	12,184	12,366	―
新規連結に伴う現金及び同等物の増加額	99	―	―
現金及び現金同等物の期末残高	10,782	12,999	―
EBITDA	3,654	4,416	

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Part.2

事業環境の変化と
中期経営計画の進捗

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

中期経営計画の実行を支える共同印刷の強み

TOMOWEL 共同印刷株式会社

印刷・加工を起点に培った技術と顧客基盤を3つの「届ける力」へと発展させ、成長領域の事業拡大につなげる

印刷・加工を起点に培った技術と顧客基盤

- 幅広い顧客基盤
- 市場ニーズを捉えた印刷＋αの価値提案力
- 堅牢な情報管理システム・体制

3つの「届ける力」

		成長領域
情報コミュニケーション	**新たな体験**を届ける力 印刷にとどまらず「コンテンツ」そのものの価値を最大化するサービスへ	オリジナルコンテンツ デジタルコミック ライツ 学びビジネス
情報セキュリティ	**安心・安全な社会サービス**を届ける力 「価値ある情報」を偽造や漏洩から守り、社会の安心を支える技術	情報サービスBPO ヘルスケア 金融
生活・産業資材	**モノを安全**に届ける力 印刷加工から発展した素材に機能と利便性をもたらす技術	高付加価値包材 海外包材 産業用包材 機能性材料

成長領域の事業拡大と収益化へ

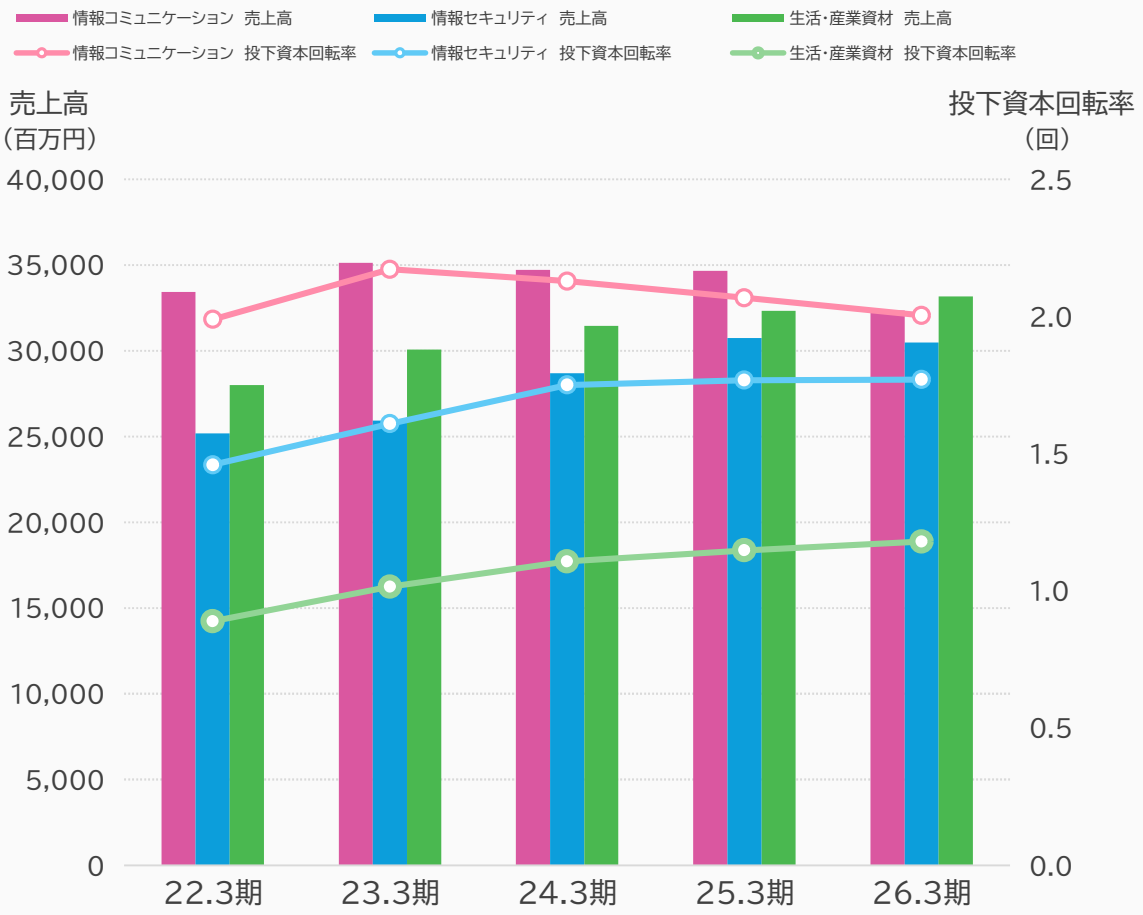
copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

事業ポートフォリオ変革に向けた収益構造の変化

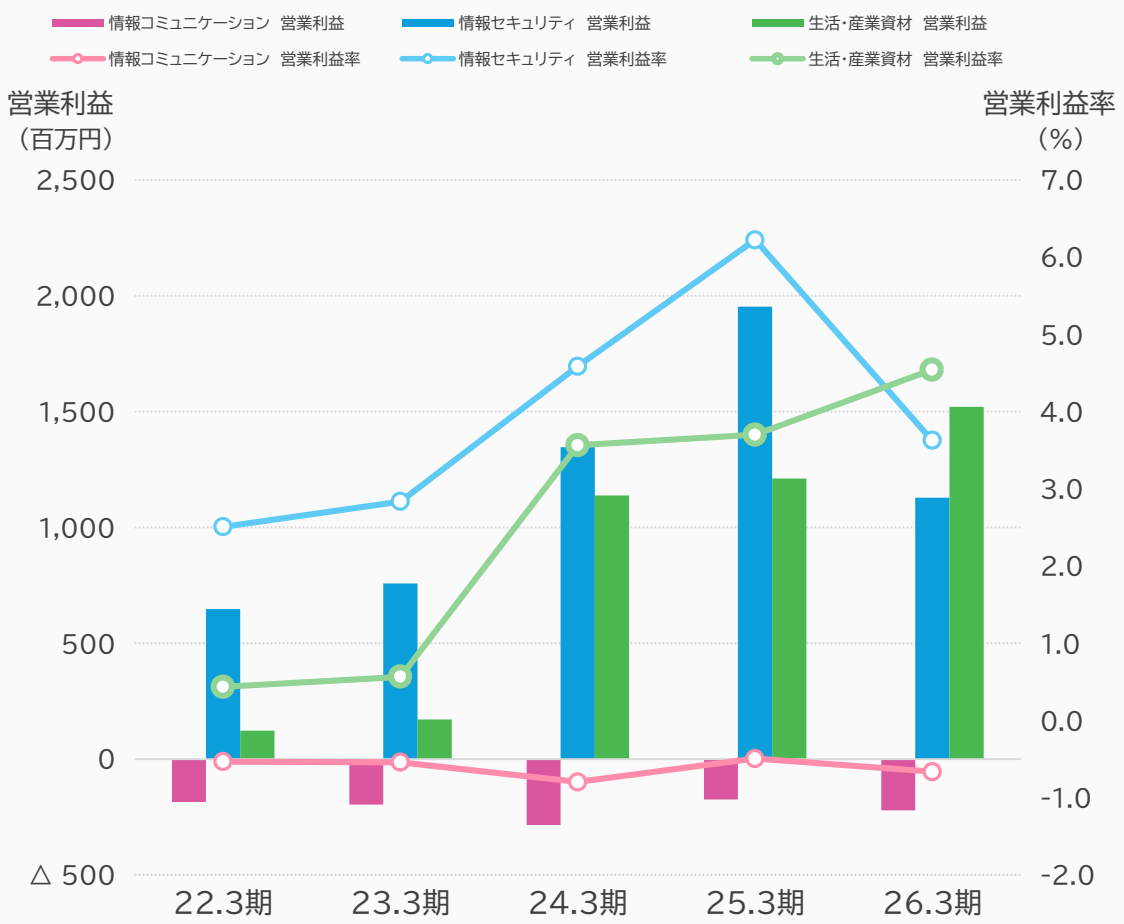
TOMOWEL 共同印刷株式会社

情報系から生活・産業資材系への事業ポートフォリオの変革を推進中

売上高 / 投下資本回転率



営業利益 / 営業利益率



copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

中計策定時からの事業環境の変化

TOMOWEL 共同印刷株式会社

紙媒体市場の縮小が一段と進む一方、BPO、オリジナルコンテンツ、包装材・海外市場などの成長機会がより鮮明に

セグメント	中計策定時 ※	主な環境変化	現在の認識
情報コミュニケーション部門	• 紙媒体市場は縮小 • 販促領域はWebやSNSの活用が進展 • コンテンツ市場の拡大	• 既存印刷市場の縮小が加速 • IPコンテンツの消費チャネルが多様化 • 人材育成・組織開発ニーズが拡大	既存印刷：紙媒体需要は想定以上に厳しい環境 成長領域：オリジナルコミック、IP活用、組織成長支援の市場機会が拡大
情報セキュリティ部門	• 行政・企業のDXに伴うBPO需要の拡大 • 交通系ICカードの需要が減少	• 自治体・ヘルスケア分野のアウトソーシング需要が拡大 • 情報管理・セキュリティへの要求が高度化	BPO：成長分野を中心に需要が堅調 カード等：当面は横ばいも中長期では減少
生活・産業資材部門	• 食品・日用品向け包装材の安定需要 • 海外向け包材や高機能包材市場の成長 • 原材料・エネルギー価格の上昇リスク	• ラミネートチューブ・軟包装需要が堅調 • アジアで現地生産・供給ニーズが拡大 • 原材料価格、電力費、為替動向の不透明感が継続	需要環境：国内外で包装材の成長機会が拡大 コスト上昇・変動リスクが継続 機能性材料の進捗遅れ

※2025年5月15日開示

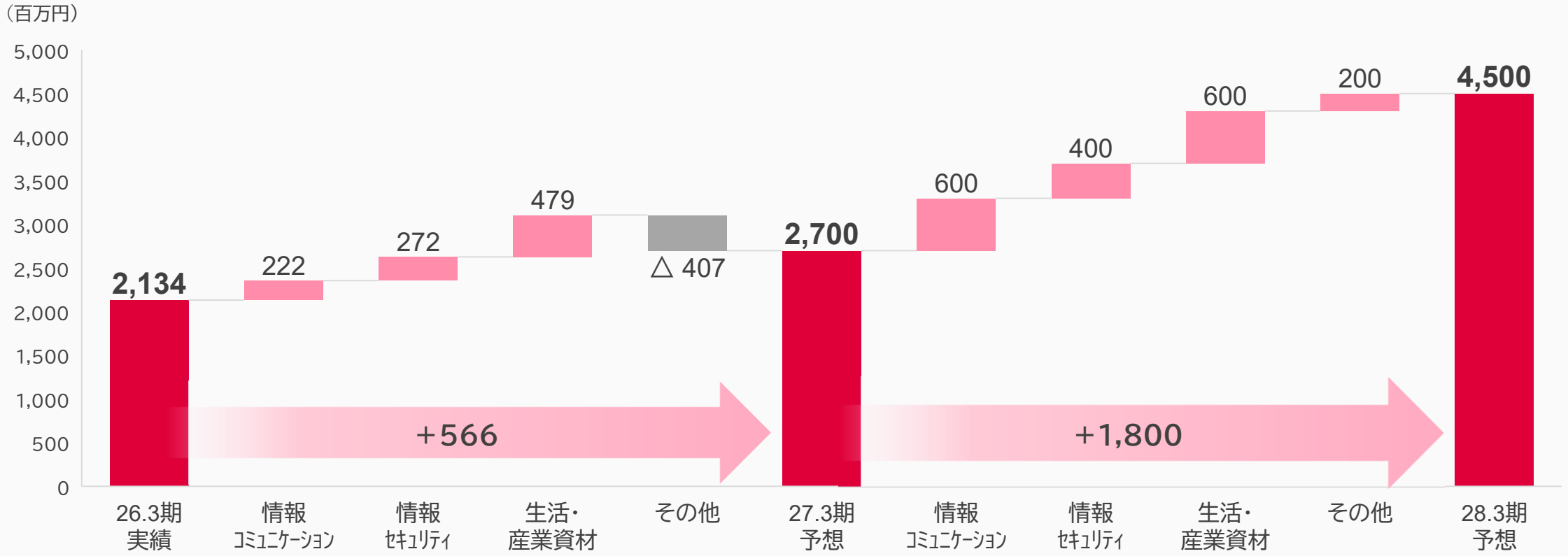
需要・市場が拡大　やや良好：緩やかな拡大、または安定的に推移　横ばい、または先行きに不透明感　需要・市場が縮小

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

利益成長シナリオ

TOMOWEL 共同印刷株式会社

成長領域の拡大と既存事業の収益性改善により、2027年度の中計営業利益目標の達成をめざす



- 採算重視の受注活動による既存印刷分野の収益性向上
- BPOの売上拡大とコスト削減による収益性向上
- 生活・産業資材の既存分野の売上拡大と適正な価格戦略

- オリジナルコンテンツの売上拡大と収益性向上
- 情報サービスBPOの売上拡大と収益性の向上
- 既存分野および新規開発製品の売上拡大と適正な価格戦略

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

重点戦略の進捗

TOMOWEL 共同印刷株式会社

事業ポートフォリオの変革に向けた足場固めとして、既存事業の基盤強化と期待事業への投資を促進

セグメント	中計の重点戦略	進捗状況	主な進捗	今後の課題／取り組み
情報コミュニケーション部門	• 紙媒体を中心とする既存事業の構造改革 • 販促サービスにおける強みの明確化とIR領域の拡大 • オリジナルコンテンツの利益創出に向けた拡大と高付加価値化	△	• 出版印刷事業の構造改革に着手 • オリジナルコミックや組織成長に向けた研修サービスが伸長 • 海外で日本の漫画の英訳版を発売	• 出版印刷事業の収益性改善 • オリジナルコンテンツのラインナップ拡充と売上拡大 • 販促サービスの拡大に向けて、コンサル型営業に本格シフト
情報セキュリティ部門	• 情報サービスBPOの拡大 • 事業環境に対応した生産体制の構築	○	• ヘルスケア分野のBPOでは、健保向けの保健事業サービスが拡大 • 金融機関向けBPOは、相続支援や口座開設Webアプリを活用したサービスが伸長	• 金融機関や自治体におけるAI活用への対応 • 情報セキュリティ対策の高度化への対応 • 交通系ICカードの需要減少への対応
生活・産業資材部門	• 製品ラインナップ拡充による国内既存事業の安定的成長 • 海外事業の拡大 • 適正な価格戦略による収益性強化	○	• スキンケアやヘアケアなど、化粧品向けラミネートチューブが拡大 • 原材料価格の上昇を適時適切に転嫁し、収益性を改善	• 海外事業拡大に向けた投資計画の策定 • 原材料価格の高止まりに対応するためのコスト削減の取り組み • 環境保護意識の高まりに対応する製品ラインナップの拡充

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

①-1 持続的な利益創出に向けた事業領域の拡張と高付加価値化

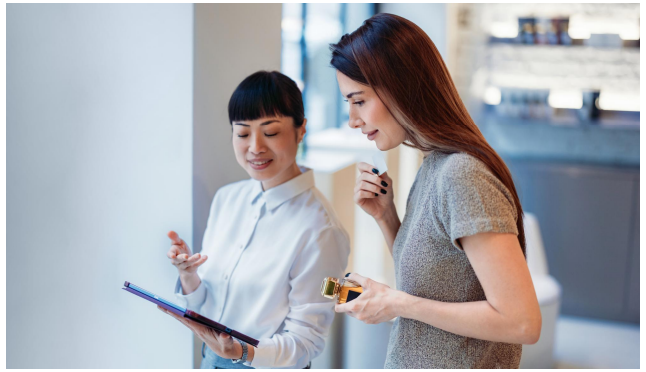
情報コミュニケーション部門

TOMOWEL 共同印刷株式会社

販促サービス事業

「コンサル型営業」へシフトし、提供価値向上を図る

- 企業と顧客とのコミュニケーションを最適化する施策を現状分析～実施～改善までサポート
- IR領域においても、企画・制作の上流工程であるコンサルティングからのアプローチを推進
- 化粧品業界向けに、マーケティングや販促の課題解決につながる情報提供および化粧品会社との共創によって販促施策を立案する「Beauty Project」をスタート



コミュニケーション設計の最適化で、企業の販売促進を支える

オリジナルコンテンツ事業

自社開発のコンテンツ販売や、コンテンツを活用した研修プログラム提供の拡大をめざす

オリジナルコミック・海外出版

- グループ会社のデジタルカタパルトで制作・販売するオリジナルコミックの作品数拡大とヒット創出に注力
- 北米に設立したKodama Tales Inc.で、日本国内の人気作品の翻訳版を、日本の高品質な印刷で出版する事業を展開



デジタルカタパルトで編集・制作しているオリジナルコミック「まものグルメ」

研修・エデュテインメント

- 自社開発のエデュテインメントツールを活用し、企業の組織成長を支援する研修プログラムを提供
- 高等学校の探究学習需要に向け、全国の教育機関に当社の研修プログラムを提供



自社開発のエデュテインメントツールとツールを活用した独自の研修プログラムを提供

IPイベント・アート＆カルチャー

- マンガ、ゲーム等のIPを活用した主催イベントの開催やグッズの企画制作・販売を推進
- 当社の技術「彩美版®」による国内外の著名な画家の複製画や、まんが作家の作品の複製画を手がけるアート＆カルチャー事業を推進



人気コンテンツを活用した原画展の開催

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報コミュニケーション部門

TOMOWEL 共同印刷株式会社

①-2 出版印刷事業における構造改革と持続的成長に向けた組織再編について

出版印刷事業を営業・製造一体型の体制へ再編し、品質向上と出版物の新たな価値創出を実現

事業環境認識

出版印刷市場の縮小と、出版社ビジネスの変化

紙の出版物中心から、
電子出版・IP関連ビジネスへ

市場環境の変化に遅れない体制と、
多様なアウトプットを生み出す仕組みが必要

再編スキーム

営業

共同印刷
出版印刷の営業機能

吸収分割

製版

コスモグラフィック
※効力発生日付（2027年10月1日予定）で商号変更予定

再編後　コスモグラフィックを存続会社とする
営業・製版・印刷・製本加工一体型の会社へ

吸収合併

印刷・製本加工

共同印刷メディアプロダクト
（消滅会社）

再編効果

技術起点の営業体制を構築し、意思決定の迅速化と、人員・設備配置の最適化を推進

デジタル技術を融合したハイブリッド生産体制を構築し、小ロットから大ロットまでの多彩な市場ニーズに柔軟に対応

ライツビジネスやグッズ制作などの周辺領域へ展開し、出版物の新たな価値創出と出版文化の持続的発展に貢献

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

②情報サービスBPOの高付加価値化と収益拡大

情報セキュリティ部門

TOMOWEL 共同印刷株式会社

「業務代行」から「業務変革支援」へビジネスモデルを変革



重点領域

強みを発揮できるヘルスケア、金融に経営資源を集中。外部とのアライアンスも視野に新領域での事業創出も

ヘルスケア 「健康データ流通のハブ」への進化

- 企業における法定健診やストレスチェックの進捗管理や実施代行まで、従業員の健康管理と組織の健康向上をトータルでサポートするサービスを提供
- 健康保険組合向けに、受診勧奨や、特定保健指導にかかるすべての業務を当社に一本化できる特定保健指導サービスを提供

金融 高セキュリティな業務基盤を活用

- 金融機関の手続きの非対面化実現に向け、口座開設Webアプリを起点としたサービスを提供
- 高齢化による相続手続き事務増加に向け、オンラインでの一次受け付けや手続きキットの発送、必要書類の仕分け・審査までを支援するサービスを提供
- マネーロンダリング防止など金融機関の継続的顧客管理を支援するサービスを提供

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

③国内既存事業の安定的成長と海外事業への投資検討

生活・産業資材部門

TOMOWEL 共同印刷株式会社

国内既存事業

1. 国内既存製品の収益性向上

適正な価格戦略の実行

- 原材料価格や物流費・人件費などのコスト上昇に対し、適時適切な価格転嫁を行って収益性を確保



化粧品向けチューブなど高収益製品への入れ替え促進

- 華やかなデザインへのニーズに対応し、独自の加飾方法を開発し、拡販
- ラミネートチューブやパーシャルオープンの多様な用途を提案し、市場を拡大



2. 製品ラインアップの拡充

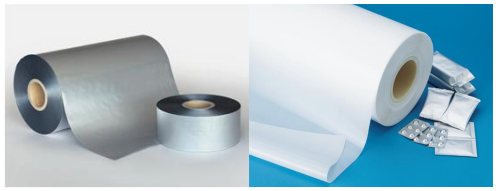
機能性材料の開発と用途拡大

- 高い機能性を持つ新たな材料の開発



高成長・高収益が見込まれるBtoB包材分野への参入探索

- BtoB包材の分野で高機能フィルムの用途を拡大



海外事業

既存の海外拠点を軸に、それぞれの市場特性に合わせた投資・拡大策を推進

ベトナム

- 日系およびグローバルメーカーへのラミネートチューブ拡販
- トップシールの拡販と現地生産の検討
- 将来的にはM&Aによる製品ラインナップ拡充を図る

インドネシア

- カラワン工場の増築や生産設備拡充によるラミネートチューブの拡販
- 周辺分野への多角化を検討
- 現地メーカーのM&Aにより、東南アジアでの存在感を確立する



M&A戦略 スピードを加速させるための戦略的投資を実施予定

ターゲット領域	市場の探索
ラミネートチューブ事業の周辺分野や、独自の強みを持つ軟包装メーカーを対象とする	インドネシア、ベトナムに加え、インドや北米市場についても参入の可能性を調査し、グローバルでの地位向上を狙う

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Part.3

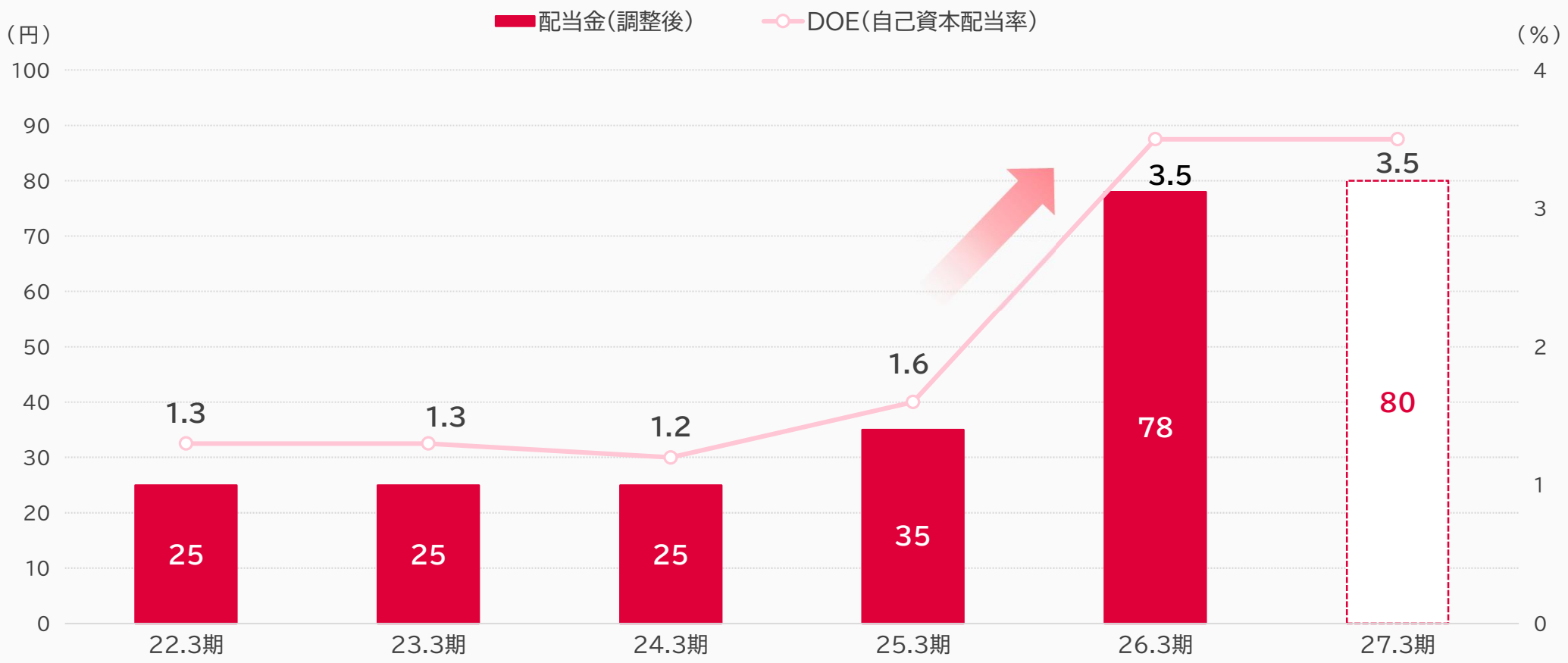
株主還元

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

配当予想

TOMOWEL
共同印刷株式会社

2027年3月期は、DOE3.5%を目安に1株当たり年間80円（中間・期末各40円）の配当を予定



copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、

経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

・業績予想などは、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。なお、現時点では、米国の関税措置による影響については、合理的な算定が難しいため、その影響を見込んでおりません。
・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行うようお願いします。
・掲載内容については細心の注意を払っていますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】
共同印刷株式会社　広報・IR部
E-mail：7914_ir@kyodoprinting.co.jp
Webサイト：https://www.kyodoprinting.co.jp/

copyright © 2026 Kyodo Printing Co.,Ltd.